

「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」 Q&A
(2021年4月7日追記版)

2020年10月9日発表の「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」に関して、想定される質問とその回答(Q&A)を、『「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」 Q&A (2020年10月9日発表)』に追加して以下に挙げています。

Q.10 「ハイパフォーマンス割当枠」は男女それぞれ何枠でしょうか？

⇒『「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」 Q&A (2020年10月9日発表)』Q.1をご参照ください。推計する場合、その算出根拠となるそれぞれのランキングは世界パラ陸上(World Para Athletics; 以下WPA)のウェブサイトより確認できます。

WPA ランキング：<https://www.paralympic.org/athletics/rankings>

なお、WPAからの割当枠は本連盟、日本知的障がい者陸上競技連盟ならびに日本ブラインドマラソン協会のパラ陸上競技3団体の協議の上、それぞれの団体の枠数が分配されます。そのため、本基準はWPAから割り当てられた枠数のうち、本連盟に分配された枠数について、本連盟登録会員を対象に適用するものです。日本に割り当てられた枠全てを本連盟登録選手に用いるということではありません。

Q.11 ハイパフォーマンス標準記録突破期間はいつまでですか？また、割当枠の枠数はいつ決定されますか？

⇒『「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」 Q&A (2020年10月9日発表)』以降にWPAより以下の日程が通知されました。

2021年6月6日	ハイパフォーマンス標準記録突破期間の終了
2021年6月23日	WPAよりハイパフォーマンス割当方式における割当枠数の通知

Q.12 ハイパフォーマンス標準記録はいつまでに突破すればよいのでしょうか？

⇒「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準(2020年10月9日公表)」の「I. 選考対象条件」にて、「4) ハイパフォーマンス標準記録突破期間内にWPA公認大会においてハイパフォーマンス標準記録を突破した選手。」としています。このことから、ハイパフォーマンス標準記録は2021年6月6日までに突破が必要です。

Q.13 2021ジャパンパラ陸上競技大会でハイパフォーマンス標準記録を突破していない選手は対象にならないのでしょうか？

⇒『「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」 Q&A (2020年10月9日発表)』Q.3にて、「I. 選考対象条件」は選考委員会が開催される時点での条件としていま

す。そのため、選考委員会開催時点にて、「I. 選考対象条件」を満たす選手に対し、換算順位を基に推薦順位をつけて選出します。つまり、2021 ジャパンパラ陸上競技大会でハイパフォーマンス標準記録を突破していなくても、その後に突破すれば選考対象となります。

なお、選考基準ならびに他の Q&A にも記載してありますが、推薦順位算出に用いる換算順位は 2019 ドバイ世界選手権、2021 ジャパンパラ陸上競技大会（2021 年 4 月 24-25 日開催予定）の結果から算出されます。つまり、今後は 2021 ジャパンパラ陸上競技大会の記録のみが換算順位に反映されます。

2021 ジャパンパラ陸上競技大会以降の記録は選考対象条件を満たすかどうかについてのみに採用されます。

Q.14 換算順位の算出は全ての種目で行いますか？

⇒換算順位はハイパフォーマンス標準記録を突破した選手のいる種目のみで算出いたします。算出方法は「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準（2020 年 10 月 9 日公表）」の「(添付 1) 2019 世界パラ陸上競技選手権大会での換算順位の算出方法について」をご確認ください。『「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」Q&A（2020 年 10 月 9 日発表）』Q.9 に例を提示しています。

なお、「3. 算出方法」の「③2019 世界パラ陸上競技選手権大会各種目の換算順位を以下の通り算出する。」において、ハイパフォーマンス標準記録を突破しているかしていないかは関係なく、換算順位を算出します。つまり、ハイパフォーマンス標準記録を突破した選手より突破していない選手の換算順位が高い場合も出る可能性はありますが、換算順位は全選手含めて算出します。一方、推薦順位を付ける際に突破していない選手は除外されます。